

<div> <div>学校運営協議会議事録</div> </div>	作成日 令和 7 年 3 月 11 日
	作成者 川角 雄三
会議名:令和 6 年度 第 3回小田原高等学校 学校運営協議会	
日時:令和 7 年 3 月 11 日(火) 14:50～16:20 場所:第一会議室	
<p>時程・議題</p> <p>(1) 学校運営協議会(司会 副校長 / 記録 武藤教諭・川角教諭):14:50～16:20</p> <p>【学校評議委員会委員、学校担当職員】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.会長より 2.令和 6 年度 学校評価報告書 実施結果「成果と課題」について <ul style="list-style-type: none"> 全日制課程 <ul style="list-style-type: none"> [菊地原孝祐・総務グループ 総括教諭] [山口 真也・教務グループ 総括教諭] [由元 美保・研究開発グループ 総括教諭] [田中 雄士・研究開発グループ 総括教諭] [三井 栄慶・キャリアガイダンスグループ 総括教諭] [二宮 賢一・生徒支援グループ 総括教諭] 定時制課程 <ul style="list-style-type: none"> [柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭] [改田 晃・教育活動推進グループ 教諭] 3.質疑応答・委員からの意見聴取 <ol style="list-style-type: none"> 1 地域連携部会の視点から 2 学校評価部会の視点から 4.その他 <ul style="list-style-type: none"> 今後の予定 <p>(2) 全日制部活動観察 16:30～17:00</p>	

(1) 協議

①会長より

地域貢献・相互協力・伝統校の誇り

②全日制学校評価報告書 実施結果「成果と課題」について

[菊地原孝祐・総務グループ 総括教諭]

・卒業式・防災関係は予定通り二回実施

・地域貢献活動は三回実施

・学校広報の学校説明会を全て実施

課題 地域との連携を更に図る。

[山口 真也・教務グループ 総括教諭]

・「理数探究」の3クラス同時展開の時間編成

課題 「理数探究」の専門的な教諭を増やし、より良い指導を行いたい。

[由元 美保・研究開発グループ 総括教諭]

・SSH の授業展開・SSH の成果・来年度の SSH の報告

課題 各教科のバランスの向上と情報共有

- ・生徒授業評価

課題 高い数値があるものの低下している部分もある。文系の生徒に対する対応にも力を入れたい。

[田中 雄士・研究開発グループ 総括教諭]

- ・校内のネットワーク環境の改善

課題 一人一台端末の利用方法と円滑な運用

[三井 栄慶・キャリアガイダンスグループ 総括教諭]

- ・学力向上進学重点校に係るデータの一元化

課題 生徒に理解しやすいデータの活用

- ・「社会で活躍する先輩からの講演会」の実施

課題 将来の進路に向けた支援

- ・入試結果

課題 今後も進路実現に向けた授業を実践する。

[二宮 賢一・生徒支援グループ 総括教諭]

- ・教育相談と各クラスの状況の透明化

課題 より連携をとり、支援が必要な生徒一人ひとりに応じた対応と保護者との連携をつづけたい。

- ・部活動での活躍の報告

課題 部活動遠征費や行事の予算の見直し

[鈴木 達也・教頭]

- ・「がんばれ小田高」運営基金について

課題 年度当初から教員研修の取組を計画的に行う。

[小見山 美代子・副校長]

- ・事故防止研修会を実施。

- ・入学者選抜業務を厳正に行い、適切に業務を遂行した。

定時制課程

[柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]

- ・情報ツールや ICT 研修の実施

課題 個別の学習指導

- ・広報活動の報告

課題 次年度も多くの志願者を得たい。

- ・多様な生徒の対応

[改田 晃・教育活動推進グループ 教諭]

- ・生徒指導支援の報告

課題 今後も生徒支援の充実を図る。

- ・サポートブックと社会性診断テストセラプラスの活用

課題 引き続き生徒一人ひとりの支援を行う。

- ・学校行事や部活動への参加

課題 自立した能力の育成を図る。

- ・キャリア教育

課題 継続した就労支援を進める。

- ・地域貢献活動と学校管理と学校運営

課題 回覧板の更なる活用を進める。

[山田 隆人・教頭]

- ・職員に向けた事故・不祥事防止会議

課題 業務の円滑な引継ぎ

③質疑応答・委員からの意見聴取

◎[委員]

SSHと学力向上進学重点校のバランスが難しかったと思われる。休日の自習室の開放はありがたい。学力向上進学重点校として理系の授業のより計画的な展開を。

◎[委員]

定時制教諭の男女バランスの改善を。生徒数の維持と地元の進路先の開拓を。

◎[委員]

国や社会が求めている力と、大学受験との乖離がある。SSHと文系生徒との関係性の改善を。どのような力を身に付けさせるか、という課題の解決を。

◎[委員]

生徒と教諭の関係が非常に良好に感じる。地域との連携と共に、生徒がより学びやすい学校にしてほしい。回覧板による地域への広報活動の充実を。

◎[委員]

「正解を当てる」教育ではなくより柔軟で「クリエイティブ」な教育を。授業の無償化による県立高校の問題を早期に解決するべき。少子化の時代に合わせた学校の運営を。転学者の受け入れ先は私立の通信制学校が多い。公立高校は私立との差別化を念頭に情報発信を。

◎[会長]

小田原高校の魅力的で発展的な教育活動についてあらためて理解した。今後はより地域との連携を深め、小田原全体の活性化を目指してほしい。

④その他

[資料]

① 令和6年度 第3回小田原高等学校学校運営協議会

② 令和6年度 学校評価報告書(実施結果)【全日制】

③ 令和6年度 学校評価報告書(実施結果)【定時制】

④ 全日制

- ・ 研究開発 G・・・「令和6年度後期生徒による授業評価アンケート」・令和6年度 SSHに係る資料
- ・ キャリアガイダンス G・・・「令和7年度入試での大学別合格者数(4年比較)途中経過」
- ・ 生徒支援・・・「3月11日(火)部活動 活動場所等 一覧」

⑤ 定時制

- ・ 学習支援 G・・・「定時制授業評価」